

え、大麻？ 実は栃木が誇る 農作物です。

大麻は、「麻」「ヘンプ」などの別称を持つ、アサ科の一年草です。違法な薬物として認識されることが多いこの植物ですが、日本では、縄文時代の遺跡から大麻の種が見つかるなど、古来より生活に親しまれ、繊維を衣服や縄・釣糸・魚網に、種を食料に、茎を建材に、葉や根を薬用にと幅広い用途で利用してきました。主要な作物であった名残は、「麻」と名がつく多くの地名や人名にも残されています。

また、神道の世界では、その繊維を清めの道具として用い、伊勢神宮のお札は、現在も神宮大麻と呼ばれるなど、日本の伝統文化・生活文化と非常に密接な関わりを持つ「農作物」でした。


しかし、工業化の波に乗り遅れたことや、法律の影響（現在、大麻の栽培には、都道府県知事が発行する大麻取扱免許が必要です）、違法な薬物というイメージの固定化により、その価値や有用性は忘れ去られ、1950年には国内に約25,000件あった大麻農家が、現在は約40件にまで減少しています。

栃木は、陶酔作用がないよう改良された品種「とちぎしろ」の栽培を現在も続けており、国内生産の約90%を占める大麻の一大産地です。

大麻博物館では、2001年の開館以来、栃木が誇るべき農作物「大麻」に関する様々な情報を発信しています。

大麻博物館

〒325-0303 栃木県那須郡那須町高久乙1-5

 東北自動車道 那須I.C.を降り、湯本方面に直進。田代小学校を右折し、すぐ右手。

 JR東北本線 黒磯駅から、那須湯本方面行バスに。田代小学校前停留所で下車し、徒歩約1分。

電話：0287-62-8093

営業時間：平日 12:00~18:00 / 土日祝 10:00~19:00

木曜定休 / 入場無料 / 駐車スペース有

<http://taihahak.jp>

<https://www.facebook.com/taimamuseum>

